

蘭越町 Zero Carbon Report

Topic 01

蘭越町ゼロカーボンフォーラム開催レポート

未来へつなぐ 蘭越町の自然のチカラ

2025年8月18日、「蘭越町ゼロカーボンフォーラム」を開催。午前中は「自然のしくみを楽しく学ぶ親子ワークショップ」、そして午後からは3人の専門家の方々をお迎えして、ゼロカーボンについて考えました。このレポートでは「海・森・暮らし」という3つの視点から、私たちの町の自然が持つ「チカラ」と、未来のために何ができるのかをお伝えします。

海・森・暮らし — わたしたちの知らない、すごい「つながり」 —

北海道地方環境事務所 尼子(あまこ)さん

自然の大きなつながりについて教えてくださいました。「森は海の恋人」という言葉のとおり、森の栄養が尻別川(しりべつがわ)のような川を伝って海を豊かにします。森を守ることが、川や海を守ることに繋がっているのです。

北海道水産林務部 下村(しもむら)さん

海の「藻場(もば)」が持つすごいパワーを説明してくれました。ワカメやコンブなどが生い茂るこの「海の森」は、温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)を吸収してくれます。この仕組みは「ブルーカーボン」と呼ばれ、地球を守る大きな力になります。しかし今、海の温度が上がるなどで藻場が失われる「磯焼け(いそやけ)」という問題も起きています。

株式会社エックス都市研究所 嶋影(しまかげ)さん

地球温暖化が農業や災害など私たちの暮らしに直結する課題である一方、蘭越町にはCO₂を吸収する豊かな森林や海という「宝物」があり、それを活かしたゼロカーボンへの挑戦が始まっている、というお話がありました。



「未来は私たちの行動でつくられる」わたしたち一人ひとりができること

- **知ること**：ブルーカーボンや自然のつながりに関心を持つ。
 - **行動すること**：ごみを減らし、電気を大切に使うなど、できることから始める。
 - **暮らしに活かすこと**：地元でとれた物を食べることも、地球にやさしい行動です。
- 町の自然や宝物を大切に、一人ひとりが行動することで、豊かで暮らしやすい蘭越町の未来が続くと語られました。

Topic 02

自然を楽しく学ぶ「夏休み親子ワークショップ」開催レポート

自然のかけらで光るランプと小さな水辺をつくろう！

同日、環境学習イベントが開催され、貝がらやシーグラスで光るランプ、水草や小石でアクアポットを制作。子どもたちは「海のたからものみたい！」と目を輝かせ、自然のつながりや命の大切さを学び、笑顔あふれる一日となりました。

